

## 河川事業

## 一級河川 荒川 (栃木) (平成 19 年 10 月完成)

## 1 事業概要

荒川は、栃木市西方町の真名子地先に源を發し、栃木市都賀町及び栃木市川原田町などの田園地帯を流下し、栃木市の中心市街地である箱森町地先にて巴波川に合流する、流路延長 12.0km、流域面積 9.2km<sup>2</sup>の一級河川です。

栃木市箱森町地内等における浸水被害を解消するため、平成 7 年度より、広域基幹河川改修事業を実施し、平成 19 年度までの 13 ヶ年で河川整備を行いました。

◆事業名：広域基幹河川改修事業

◆事業箇所：一級河川 荒川 (栃木)

栃木市箱森町～川原田町

◆事業主体：栃木県

◆事業延長：L=2,000m (一級河川巴波川合流点～市道・北橋)

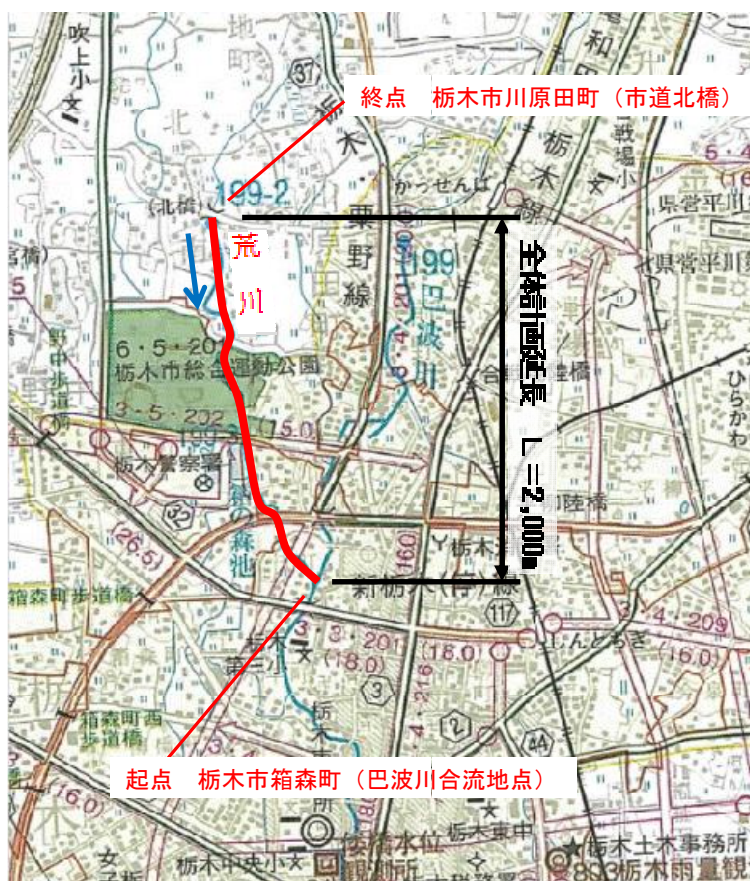
◆計画流量：Q=23~25 m<sup>3</sup>/s

◆総事業費：約 35 億円

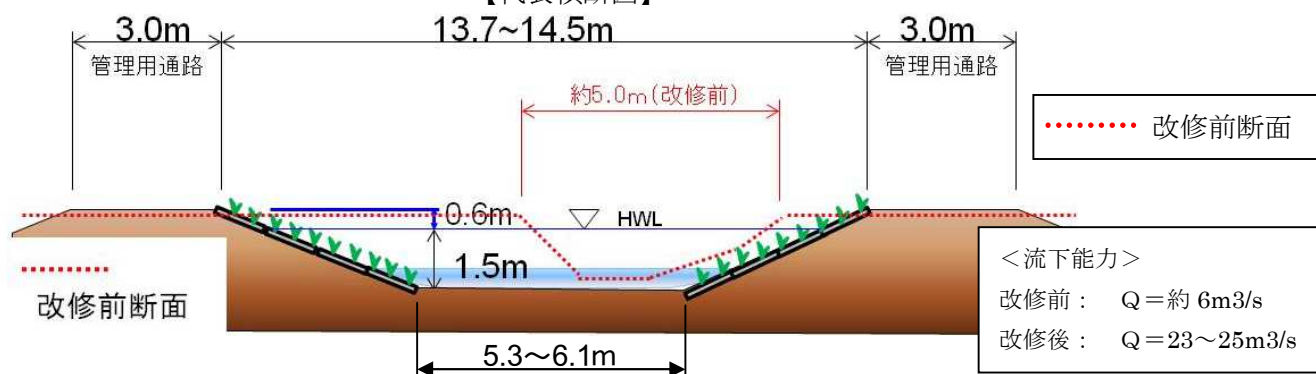
◆事業期間：平成 7 年度～平成 19 年度

◆工事内容：掘削、築堤、護岸等

位置図



【代表横断面図】



## 2 事業の目的・必要性

荒川は、河道の大半が狭小で蛇行しており、流域の都市化の進展に伴い流出量が増大していることから、流下能力が不足し、平成 3 年、平成 14 年と浸水被害が発生しました。

このため、「浸水被害の解消」を目的に河川整備を実施し、河道断面の拡幅を図りました。



はこのもりまち あらかわぼし  
出水状況：H3.8 豪雨（栃木市箱森町：荒川橋）



かわらだまち きたばし  
出水状況：H3.8 豪雨（栃木市川原田町：北橋右岸）

## 3 事業の整備効果等

### ＜費用対効果分析の算定基礎となった要因変化＞

- ・事業費 着手前 約 35 億円 → 完成時 約 35 億円
- ・事業期間 着手前 平成 7 年度～平成 20 年度 → 完成時 平成 7 年度～平成 19 年度  
事業期間短縮の理由：平成 14 年 7 月水害にともなう整備の重点化

### ＜浸水被害の解消＞

事業完了後 5 年が経過しましたが、河道断面の拡幅により流下能力の向上が図られたため、その後、浸水被害は発生しておりません。

事業完了後、最大規模となる平成 23 年 7 月の台風 6 号による出水においては、日雨量にして 186mm もの降雨を記録しましたが、河川整備により浸水被害を防ぐことができました。

#### 整備前

栃木観測所	日雨量	浸水戸数	浸水面積
平成 3 年 8 月	163mm	620 戸	63ha
平成 14 年 7 月	121mm	16 戸	12ha



#### 整備後

栃木観測所	日雨量	浸水戸数	浸水面積
平成 23 年 8 月	186mm	0 戸	0ha

## 4 事業実施による環境の変化

緑豊かで安全な川となるよう、護岸には植生に配慮した環境保全型ブロックを使用し、緑化を図りました。また、栃木市総合運動公園内では、既設擬木護岸を積極的に流用するなど、環境の保全に配慮しました。

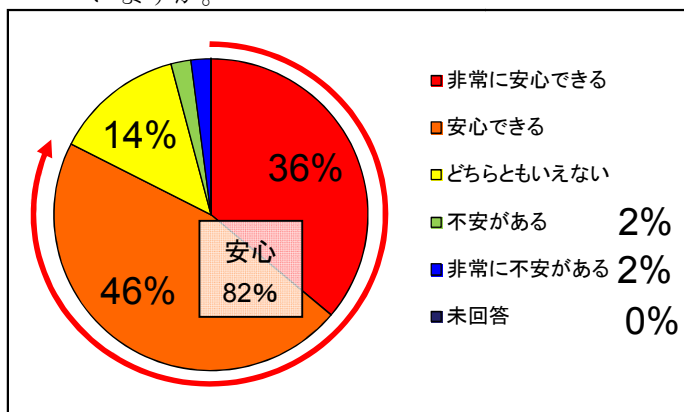
## 5 地元の声

事業完了から5年を経て、整備効果の検証のため、浸水対策として河川整備を行った荒川の沿川住民の皆様からご意見を頂きました。(平成25年6月アンケート調査実施)

(回答数/配布数：97/201 回答率約48%)

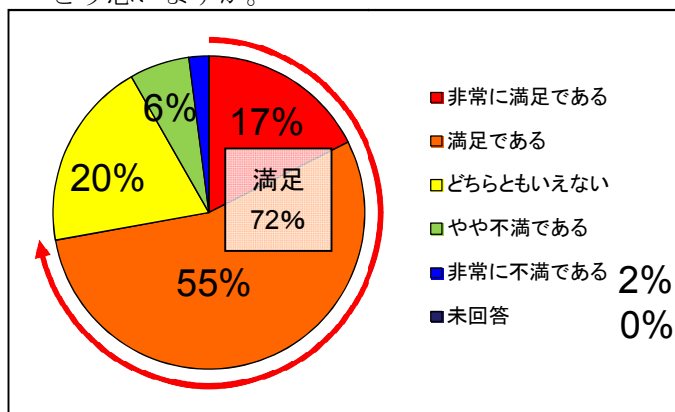
＜「浸水被害の解消」について＞

(1) 河川改修後、大雨時にどのように感じていますか。



8割以上の方が、大雨時に安心できると感じています。

(2) 河川が改修されたことについてどう思いますか。



7割以上の方が、改修されたことに満足しています。

(3) 自由意見

- ・堤防が出来、散歩も楽しく利用出来るようになりました (60代男性)
- ・子供たちが川遊びをするようになった (50代女性)
- ・河川改修前に比べて、自然の河川らしくなり、水鳥や川魚など楽しい景観はよそには見られないくらいです (50代男性)
- ・自然の鳥などはたくさん来て、毎日楽しみです (50代女性)
- ・堤防の除草、草刈りが増えた (40代男性)
- ・定期的にゴミの回収をお願いします (60代男性)

## 6 今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

整備後の出水時に浸水被害が発生していないことや、アンケート調査結果により、本事業の目的である「浸水被害の解消」は図られております。

また、環境保全型ブロックの使用により植生の回復が図られ、小魚の棲息がみられる等、良好な環境が形成されております。

このため、今後の事後評価・改善措置の必要性はないものと考えています。

## 7 同種事業への反映

大雨時における「安心」が確保されたほか、堤防の管理用通路や緩勾配の護岸の整備により、親水性が確保されたこと等を踏まえ、今後実施する河川事業の計画策定や工事の実施、整備後の維持管理等に役立てて参ります。

栃木県 県土整備部 河川課

T E L : 028-623-2444 F A X : 028-623-2441

H P : <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h06/index.html>

E-mail : [kasen@pref.tochigi.lg.jp](mailto:kasen@pref.tochigi.lg.jp)

